

おいしい

米づくり情報

No.7

令和8年9月1日発行
J A て ん ど う
天童市農業技術指導会議

圃場ごとのバラつき大！圃場ごとに登熟の進み具合をよく観察し、適期を見極めて刈取りを行いましょう！

▶現在の生育状況（8月21日現在）

品種	年次	稈長 (cm)	穂数 (本/株)	穂長 (cm)	1穂粒数 (粒/本)
はえぬき	本年	81.2	26.6	18.3	75.4
	前年	78.3	23.3	20.8	76.5
	平年	77.4	25.5	18.3	73.9
	平年比	105%	104%	100%	102%
つや姫	本年	80.0	22.1	16.8	80.4
	前年	77.9	19.4	20.2	85.8
	平年	76.0	21.3	17.5	76.3
	平年比	105%	104%	96%	105%
雪若丸	本年	76.5	27.3	17.2	67.9
	前年	76.1	30.6	22.0	72.0
	平年	74.3	27.1	18.9	69.3
	平年比	103%	101%	91%	98%

全品種、穂数が平年並からやや多い状況です。1穂粒数もやや多くなっています。

・はえぬき

稈長は平年よりやや長い。株当たりの穂数は平年よりやや多い。

穂長は平年並。1穂粒数は平年よりやや多い。

・つや姫

稈長は平年よりやや長い。株当たりの穂数は平年よりやや多い。

穂長は平年よりやや短い。1穂粒数は平年よりやや多い。

・雪若丸

稈長は平年よりやや長い。株当たりの穂数は平年並。

穂長は平年より短い。1穂粒数は平年よりやや少ない。

▶水田等の環境整備

・畦畔・農道・水路周辺の草刈りを行いましょう。

特にクサネムの実は、米選機では抜けません。必ず抜き取るようにして下さい。

▶刈取り時期の目安

- ・管内の出穂盛期は、「はえぬき」「雪若丸」が 8/2 頃と平年並、「つや姫」が 8/7 頃と平年並となっています。※ 7 月下旬の低温少照により、出穂が緩慢となり、圃場ごとの出穂期の幅が大きくなっています。
- ・玄米肥大の促進と胴割粒発生軽減のため、**落水は出穂後 30 日以降を目安**とします。**早期落水は厳禁！**

品種	出穂期	刈取適期の目安日		積算気温 の範囲※	青粳 歩合
		始	終		
はえぬき	8/2 頃	9/10	9/21	950～1,200℃	20%
ひとめぼれ			9/17	950～1,100℃	15%
雪若丸			9/21	900～1,200℃	15～20%
ヒメノモチ			9/19	950～1,150℃	15%
つや姫・コシヒカリ	8/7 頃	9/18	9/28	1,000～1,200℃	15%

- ※ 刈取り時期の目安は出穂後の積算平均気温を目安にしております。（8/27 時点）
- ※ 今年は出穂後 30 日間の平均気温が 25℃未満のため、高温登熟にはあたりません。
- ※ 圃場、品種ごとに**青粳歩合、枝梗の黄化、粳水分（25%以下）、倒伏程度**等を加味して総合的に判断し作業を進めて下さい。
- ※ **刈遅れは、胴割粒や茶米・奇形粒の増加、玄米光沢の低下を助長します。適期**となったら速やかに収穫作業に入れるように、**早めに刈取り準備を進めて刈遅れをなくしましょう！**

※農薬使用基準（残留基準）の厳守について

最終防除薬剤の収穫前日数を確認して刈取りを行って下さい。

▶適正な乾燥調整

- ・乾燥時は青粳の割合、張り込み量等を十分把握し、水分測定を確実にを行い適正な送風温度で乾燥を行い、過乾燥にならないよう注意する。
- ・粳すり時の品質低下（肌ずれ・胴割れ・アラ混入等）が無いように**必ず試しすり**を行ってから連続作業に入る。**特に雪若丸・つや姫は玄米の粒形が大きいので注意！！**

※現在、異品種混入が問題となっています。出荷米のDNA検査が実施されますので、刈取り・乾燥調製において品種が異なるときは、必ず機械の掃除をしてから行うようにして下さい。圃場内に異品種が見られる場合は、収穫前に必ず抜き取りましょう。

～ 生産工程管理表は、刈取り（出荷）1 週間前までに提出をお願いします。～

おいしい

米づくり情報

No. 7

令和 8 年 9 月 1 日発行
J A て ん ど う
天童市農業技術指導会議

圃場ごとのバラつき大！圃場ごとに登熟の進み具合をよく観察し、適期を見極めて刈取りを行いましょう！

▶現在の生育状況（8月21日現在 田麦野）

品種	年次	稈長 (cm)	穂数 (本/株)	穂長 (cm)	1 穂粒数 (粒/本)
あきたこまち	本年	78.4	19.9	20.0	91.5
	前年	84.5	18.9	20.9	82.9
	平年	79.6	20.2	18.1	79.2
	平年比	98%	99%	110%	116%

・あきたこまち

稈長、株当たりの穂数は平年並。

穂長は平年より長い。1 穂粒数は平年より多い。

▶水田等の環境整備

・畦畔・農道・水路周辺の草刈りを行いましょう。

特にクサネムの実は、米選機では抜けません。必ず抜き取るようにして下さい。

▶刈取り時期の判定

・青粒歩合(20%)・枝梗の黄化・粒水分を考慮して、刈取り時期を判断しましょう。

・粒水分で 25%位が刈取りの目安となりますが、登熟が進むと急に水分が低くなってきます。

・刈取り前に降雨・晴天が繰り返された場合、胴割粒の発生が多くなり、品質低下を招きます。

・水口周辺の登熟を見ながら、刈取り時期を予想して下さい。

～ 生産工程管理表は、刈取り（出荷）1 週間前までに提出お願いします。～

▶刈取り時期の目安

・玄米肥大の促進と胴割粒発生軽減のため、**落水は出穂後 30 日以降を目安**とします。**早期落水は厳禁！**

品種	出穂期	刈取適期の目安日		積算気温 の範囲※	青粃 歩合
		始	終		
あきたこまち	8/1 頃	9/10	9/17	950～1,100℃	20%

※ 刈取り時期の目安は出穂後の積算平均気温を目安にしております。（8/27 時点）

※ 今年は出穂後 30 日間の平均気温が 25℃未満のため、高温登熟にはあたりません。

※ 圃場、品種ごとに**青粃歩合、枝梗の黄化、粃水分（25%以下）、倒伏程度**等を加味して総合的に判断し作業を進めて下さい。

※ **刈遅れは、胴割米や茶米・奇形粒の増加、玄米光沢の低下を助長します。適期**となったら速やかに収穫作業に入れるように、**早めに刈取り準備を進めて刈遅れをなく**しましょう！

※農薬使用基準（残留基準）の厳守について

最終防除薬剤の収穫前日数を確認して刈取りを行って下さい。

▶適正な乾燥調整

・乾燥時は青粃の割合、張り込み量等を十分把握し、水分測定を確実にを行い適正な送風温度で乾燥を行い、過乾燥にならないよう注意する。

・粃すり時の品質低下（肌ずれ・胴割れ・アラ混入等）が無いように**必ず試しすり**を行ってから連続作業に入る。

・**出穂後高温で経過したため、胴割粒の発生が懸念されます。ゆっくり・丁寧な乾燥**を行いましょう。

※現在、異品種混入が問題となっています。出荷米のDNA検査が実施されますので、刈取り・乾燥調製において品種が異なるときは、必ず機械の掃除をしてから行うようにして下さい。圃場内に異品種が見られる場合は、収穫前に必ず抜き取りましょう。